

平成28年11月  
水産庁  
外務省

## 新北西太平洋鯨類科学調査計画案の概要について

### 1. 調査の名称

新北西太平洋鯨類科学調査計画 ニューレップ・エヌピー NEWREP-NP:  
New Scientific Whale Research Program in the  
western North Pacific

### 2. 調査の目的

(1) 日本沿岸域におけるミンククジラのより精緻な捕獲  
枠算出

(既に国際捕鯨委員会 (IWC) 科学委員会で算出済みの捕  
獲枠を精緻化)

(2) 沖合におけるイワシクジラの妥当な捕獲枠算出

(これまで IWC 科学委員会で捕獲枠を算出していない)

※将来の捕獲枠算出に当たっては改訂管理方式 (商業捕鯨のための持  
続的な捕獲量を算出する手法) を使用予定

### 3. 調査の実施海域

別紙参照

### 4. 調査期間

12年間

(2017年度～2028年度、調査開始から6年後に中間  
評価を実施)

## 5. 調査内容

### (1) 捕獲調査

#### ① ミンククジラの捕獲調査（沿岸域、沖合域）

沿岸域の目標捕獲頭数/年：47 頭（網走沿岸域）（当初 6 年間。後半 6 年間は前半期の結果を踏まえて再計算。）

100 頭（太平洋側沿岸域）

沖合域の目標捕獲頭数/年：27 頭

#### ② イワシクジラの捕獲調査（沖合域）

目標捕獲頭数/年：140 頭

### (2) 非致死的調査（調査海域全域）

- ・ 資源量推定のための目視調査
- ・ 系群構造の解明等のためのバイオプシー（皮膚標本）の採取
- ・ 移動を追跡するための衛星標識の装着の試行的実施
- ・ バイオプシーから抽出した DNA の分析による年齢推定方法（耳垢栓の分析の代替手法）の実行可能性・有用性の検証等

## 6. 使用調査船

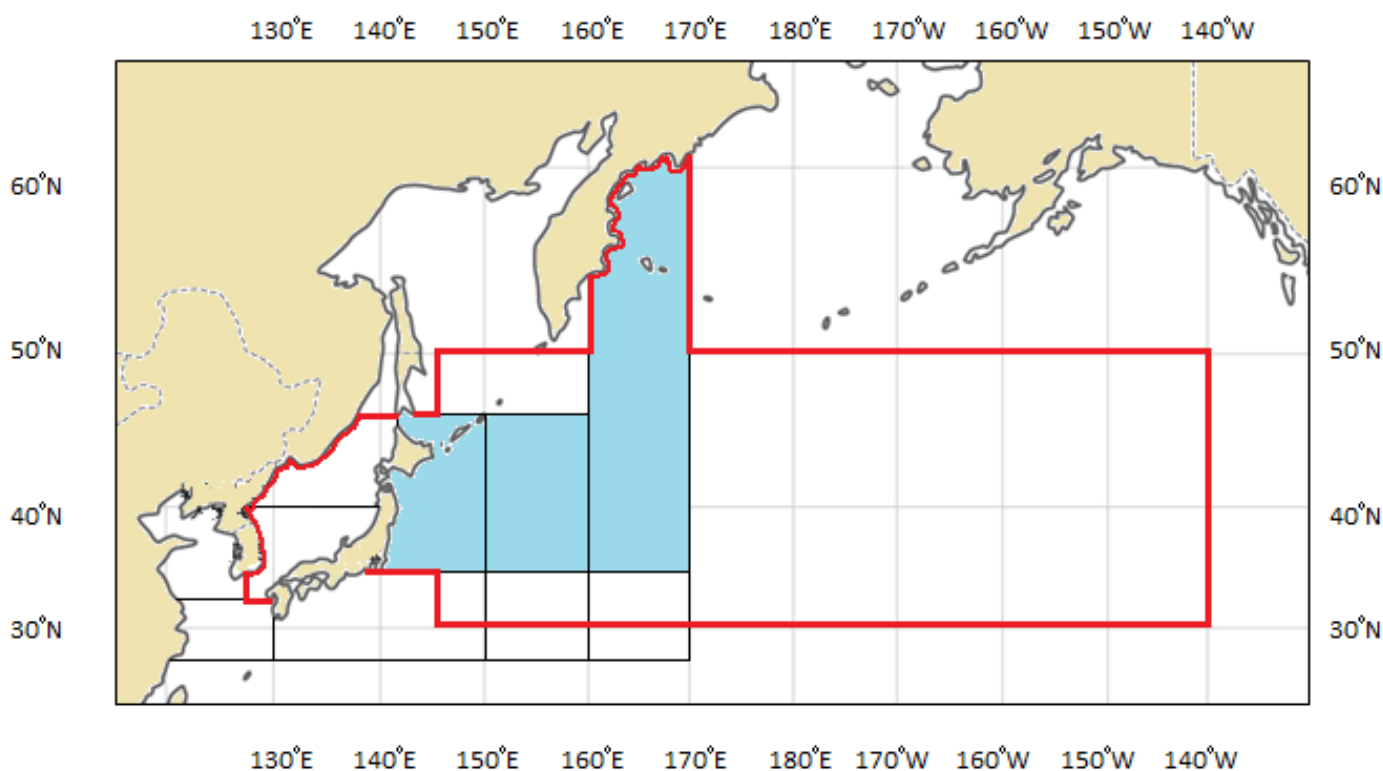
沿岸域：沿岸小型捕鯨船最大 5 隻

沖合域：母船 1 隻、採集船・目視船 2 隻ずつ

## 7. 他の調査機関との連携

- 外国人科学者の参加
- 国内外の調査機関との連携
- IWC / 日本共同北太平洋鯨類目視調査（IWC-POWER）等の関係する調査プログラムとの連携

# 新北西太平洋鯨類科学調査計画 (NEWREP-NP) 調査実施海域



捕獲調査海域: 上図の水色の海域  
非致死的調査海域: 上図の赤枠の海域

(ただし、我が国領海・排他的経済水域及び公海のみ)